

## 6-7 中部地方の地殻変動

### Crustal Movements in the Chubu District

国土地理院  
Geographical Survey Institute

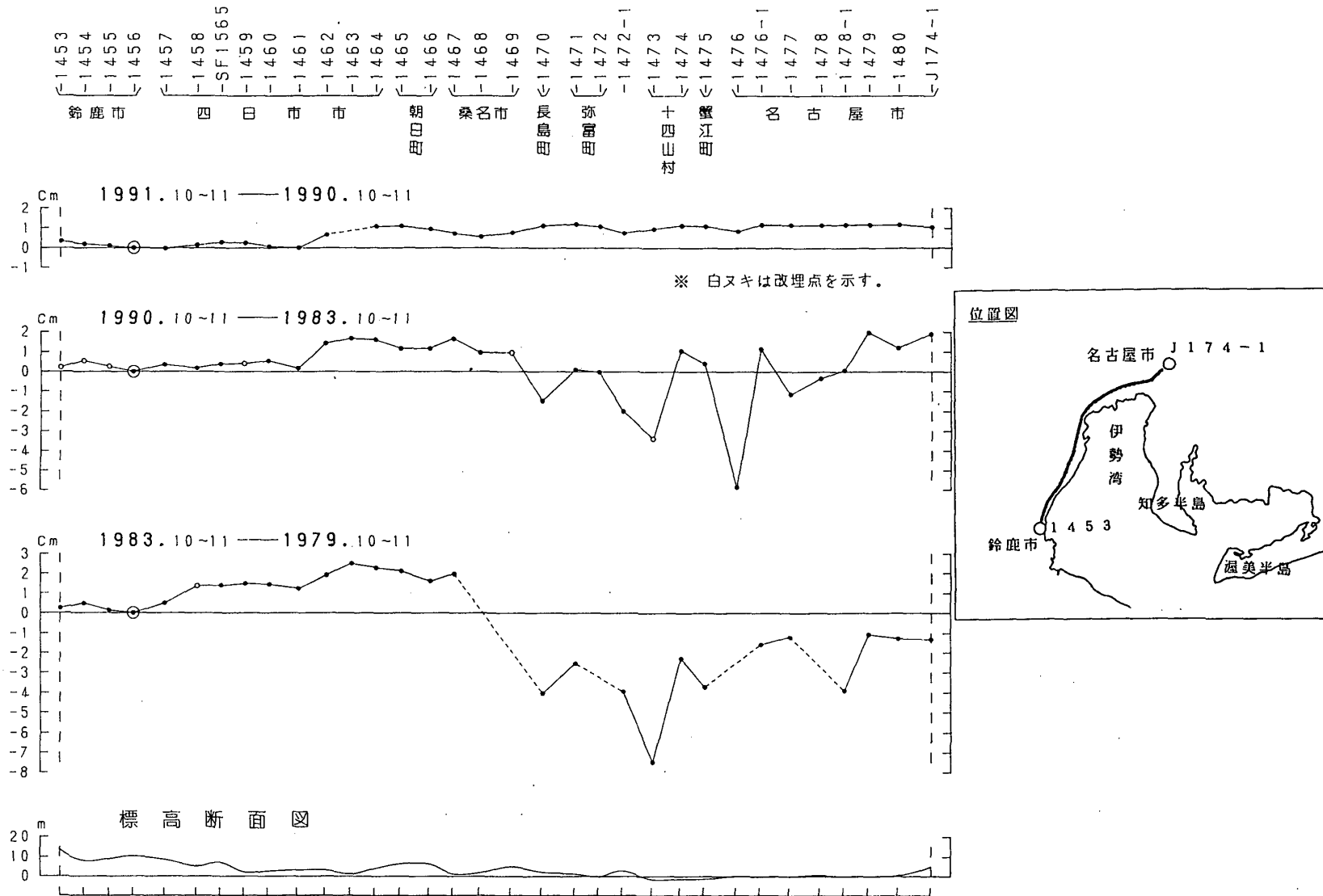
第1図は、鈴鹿～名古屋間の水準測量の結果である。鈴鹿市を基準にすると、四日市から桑名、名古屋にかけて約1cmの隆起になっている。第2図は、大垣～名古屋間の水準測量の結果で、特に変化はない。第3図は、常滑～豊明間の水準測量の結果である。豊明、名古屋を基準にすると、知多から常滑にかけて約1cmの隆起になっている。

第4図は、鬼崎・名古屋・鳥羽の各験潮場間の月平均潮位差である。特に大きな変化はない。第5図は、柏崎・輪島・富山の各験潮場間の月平均潮位差である。特に大きな変化はないが、柏崎はデータの欠測が多いため、現在ソフト等を改良中である。

第6図～第8図は、鈴鹿地区における精密測地網一次基準点測量の結果である。第6図、及び第7図は、一次網3回目と2回目及び1回目の比較で、亀山付近の大きな歪は三角点の移転改埋の影響によるものと思われる。第8図は、一次網3回目と明治の比較で、ほぼ東西方向の圧縮歪が見られる。

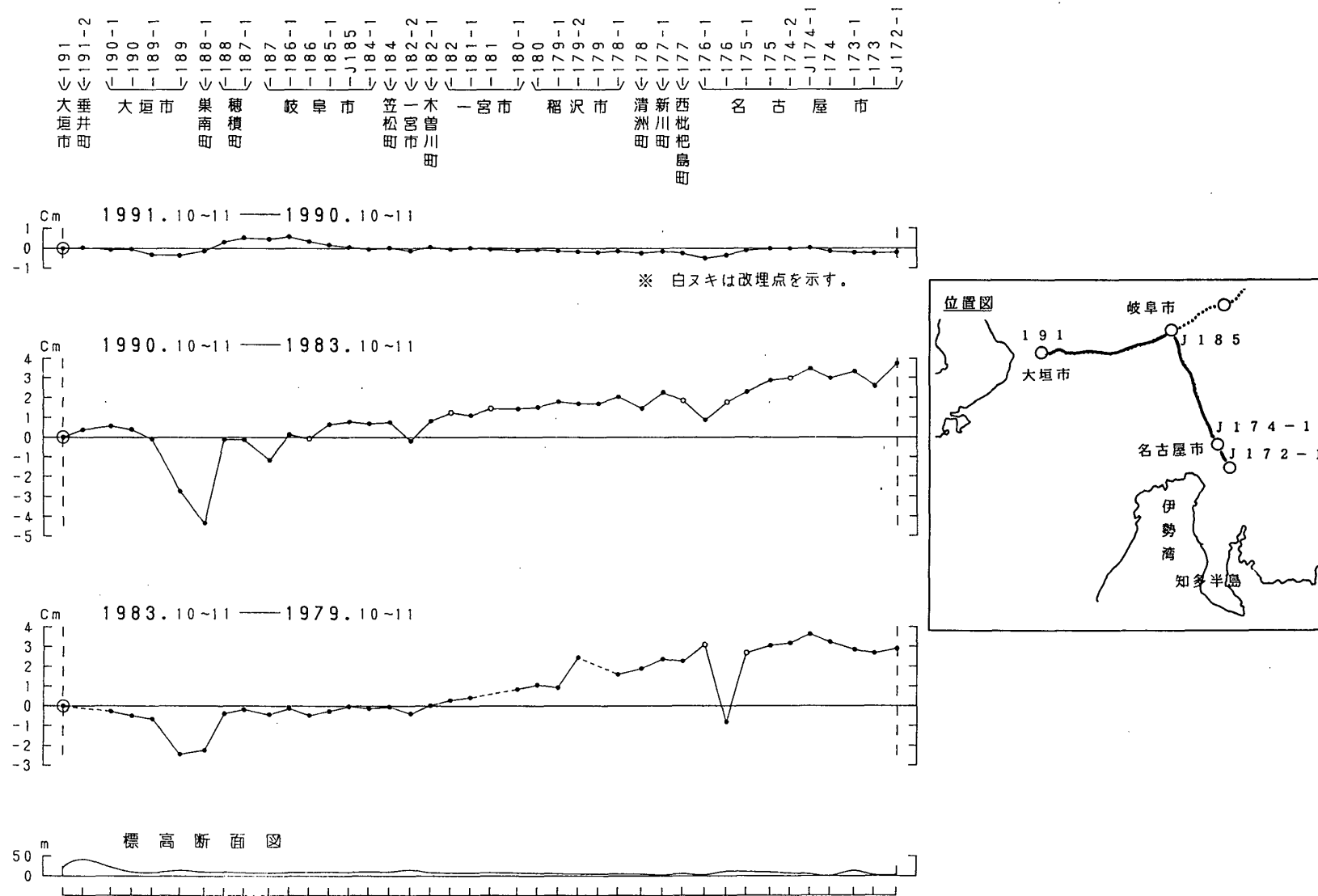
#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：中部地方の地殻変動，連絡会報，34（1985），170-178.
- 2) 国土地理院：中部地方の地殻変動，連絡会報，46（1991），378-385.



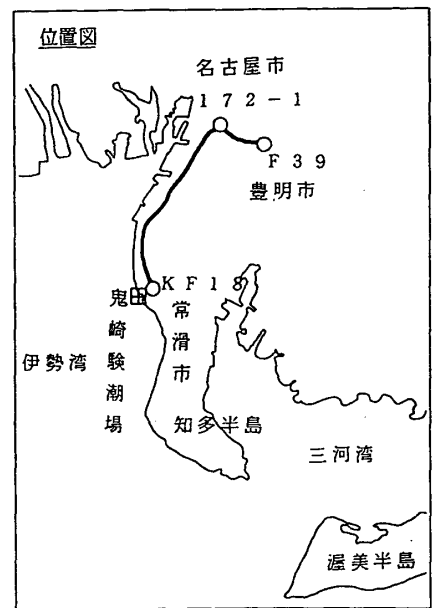
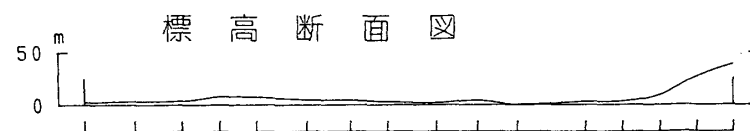
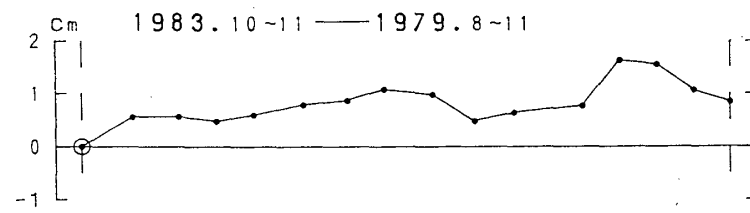
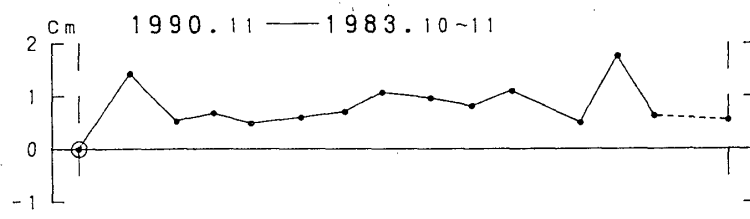
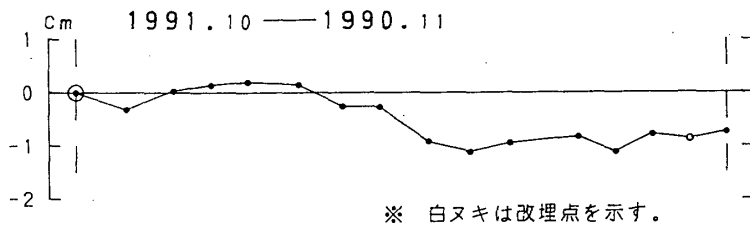
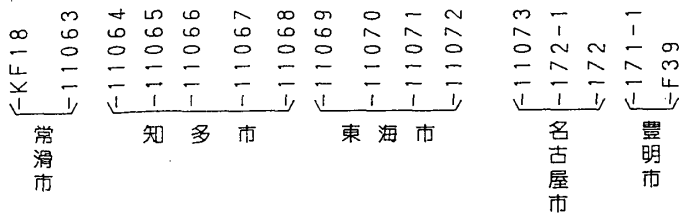
第1図 鈴鹿～名古屋間の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from Suzuka to Nagoya.



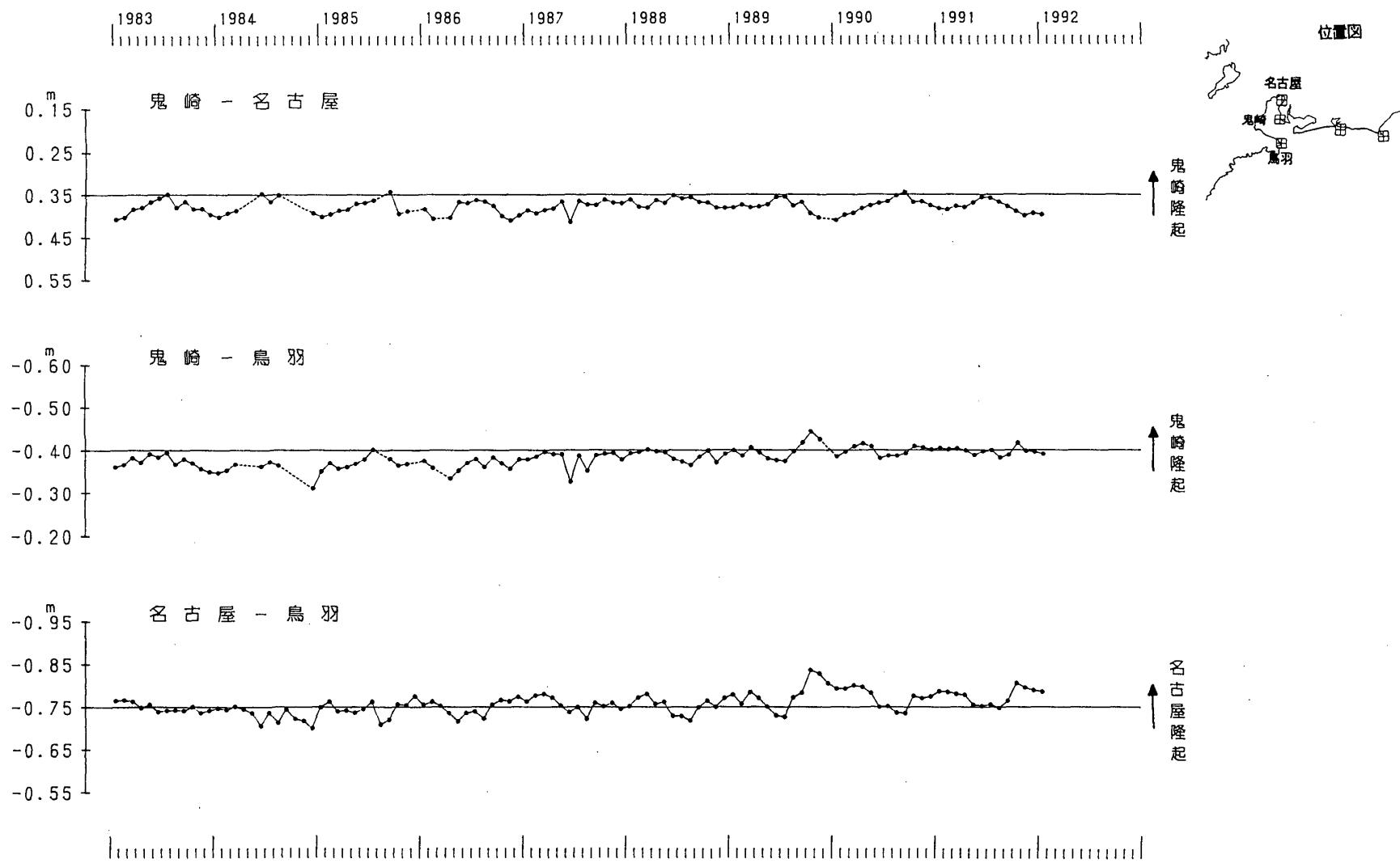
第2図 大垣～名古屋間の上下変動

Fig. 2 Level changes along the route from Ogaki to Nagoya.



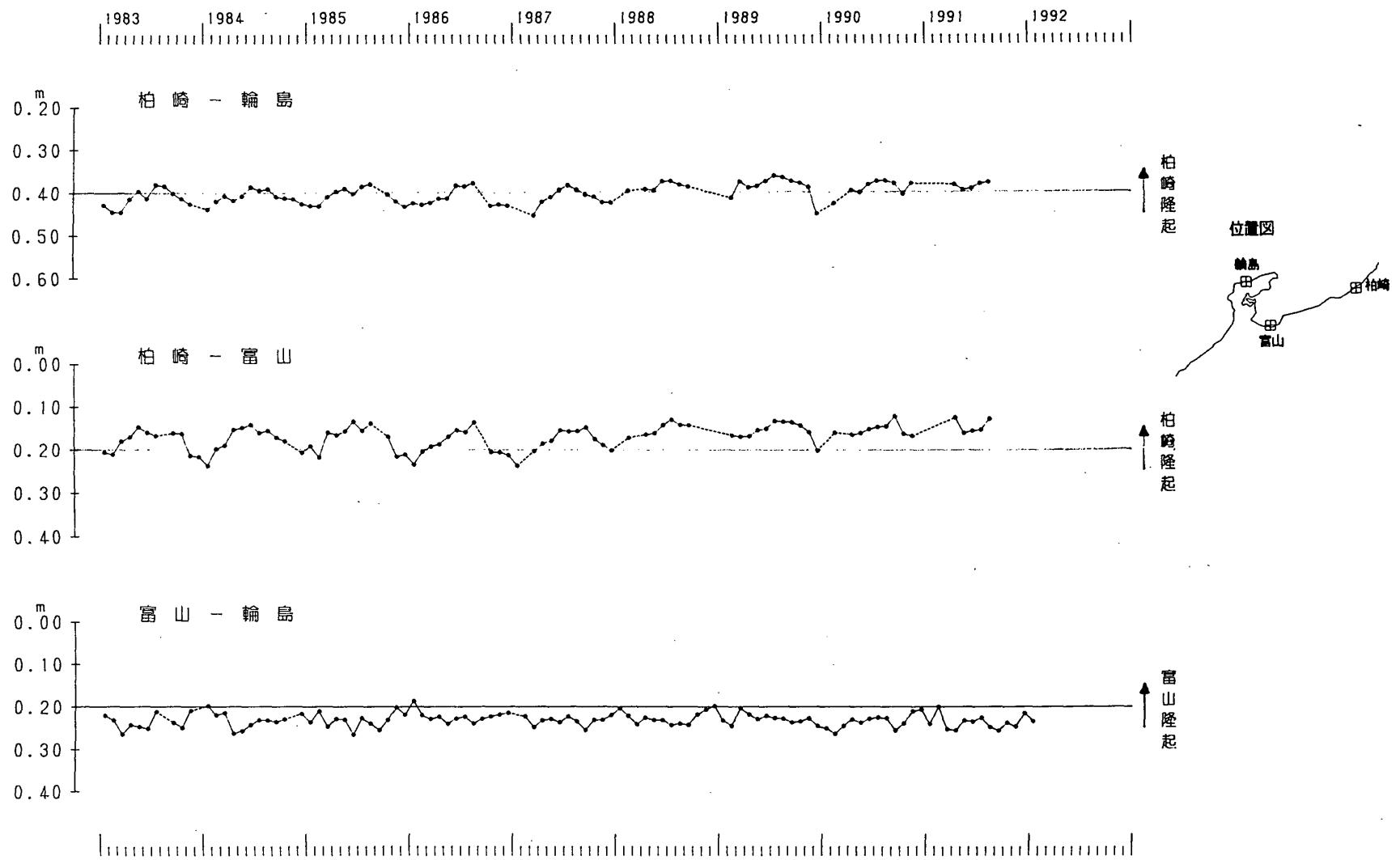
第3図 常滑～豊明間の上下変動

Fig. 3 Level changes along the route from Tokoname to Toyoake.



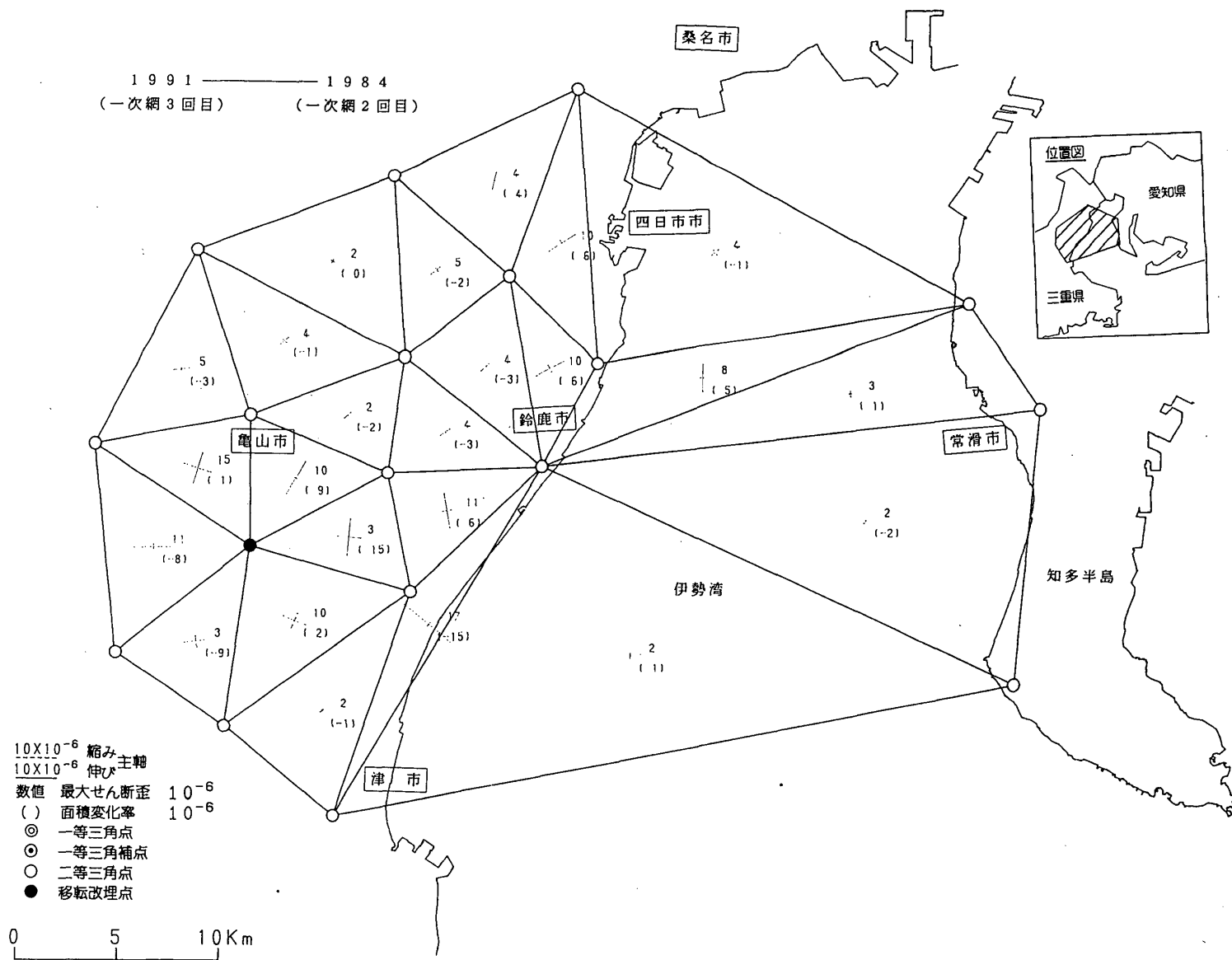
第4図 鬼崎・名古屋・鳥羽各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 4 Differences in monthly mean sea levels between the Onisaki, the Nagoya and the Toba tide stations.



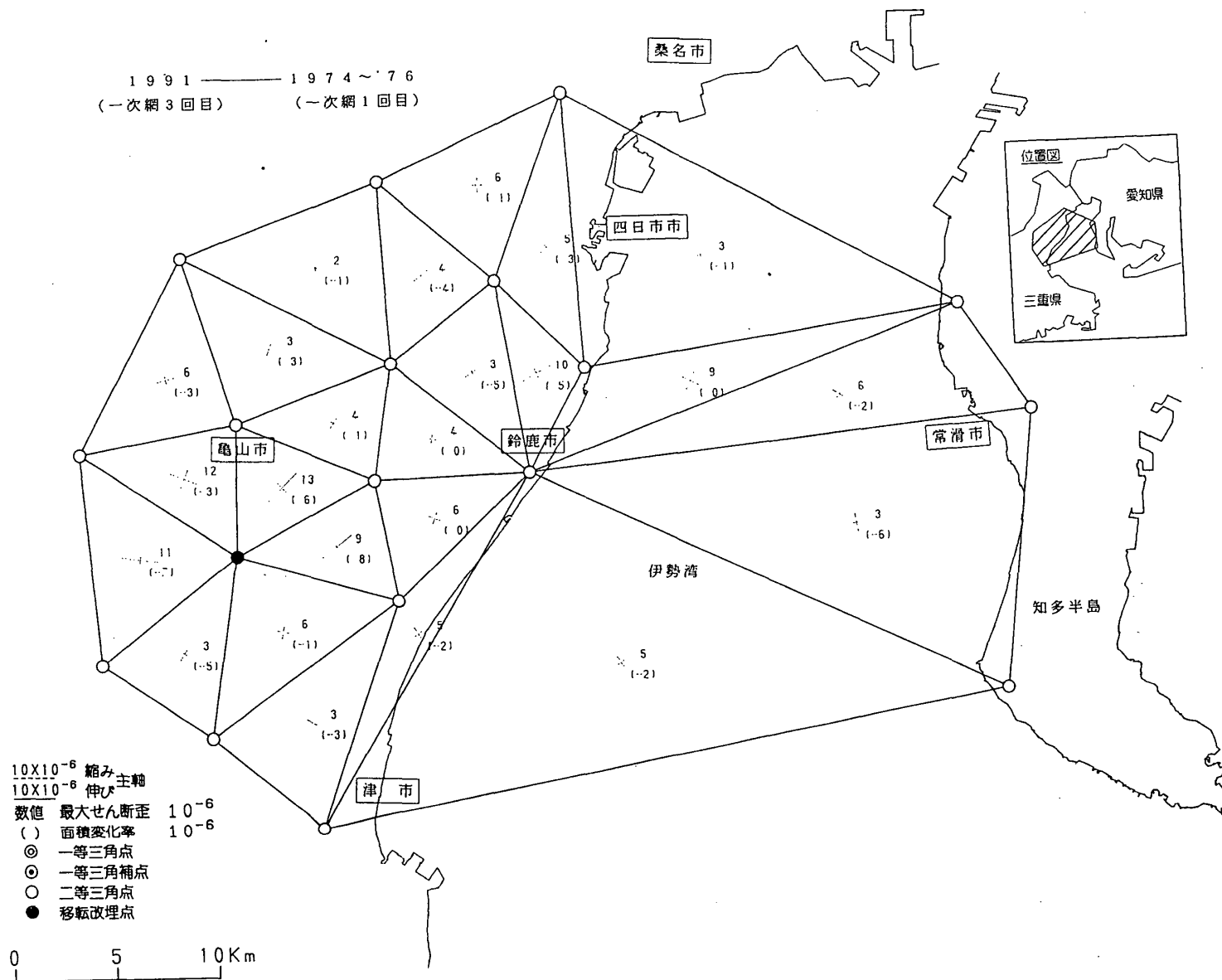
第5図 柏崎・輪島・富山各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 5 Differences in monthly mean sea levels between the Kashiwazaki, the Wajima and the Toyama tide stations.



第6図 鈴鹿地区の水平歪(1)

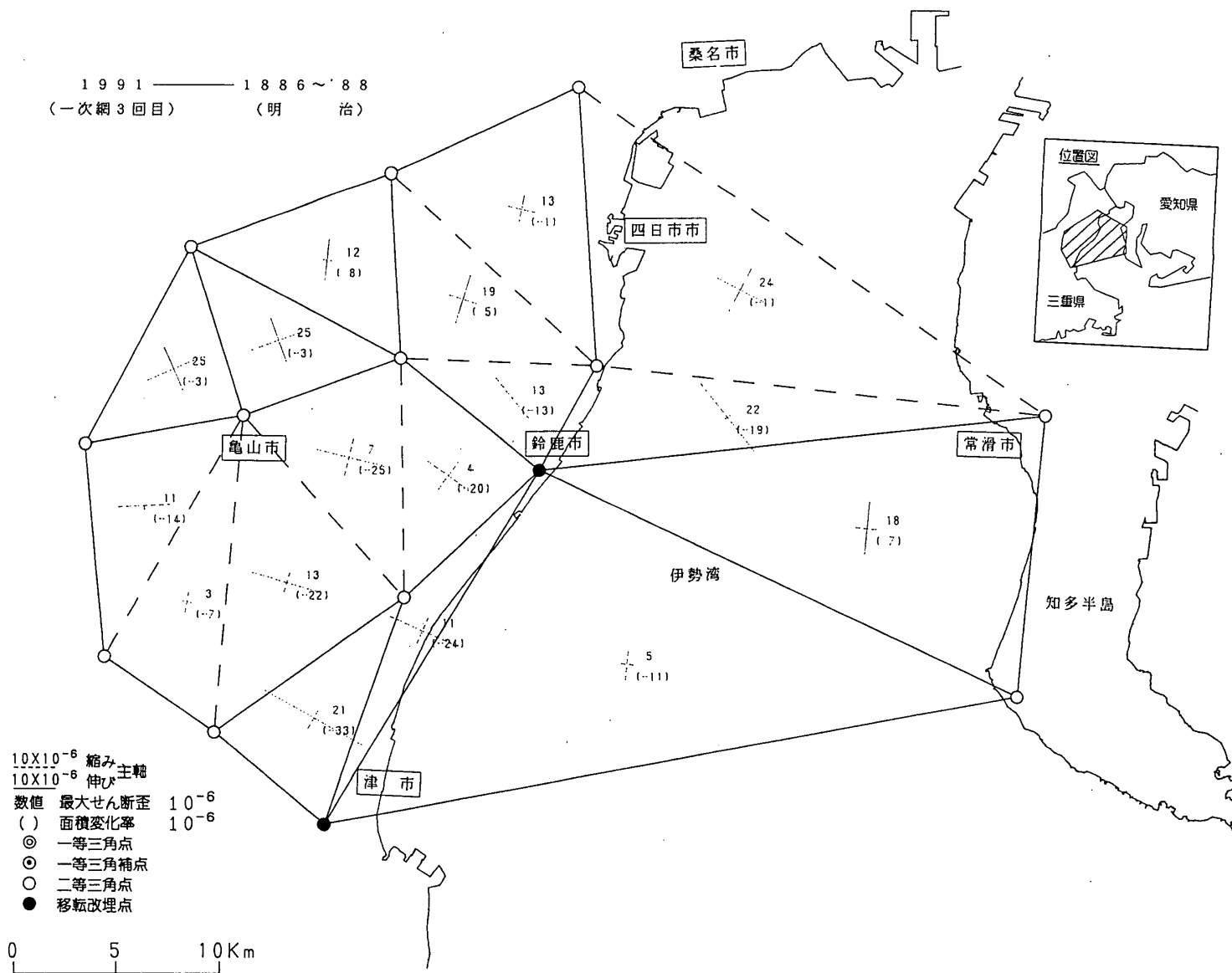
Fig. 6 Horizontal strain in the Suzuka region (1).



第7図 鈴鹿地区の水平歪(2)

Fig. 7 Horizontal strain in the Suzuka region (2).





第8図 鈴鹿地区の水平歪(3)

Fig. 8 Horizontal strain in the Suzuka region (3).